



レガシーシステムから、スマホ&クラウドサービスへ

# 文具業界における、 店舗発注業務のデジタル化事例



## 顧客ニーズに寄り添う、文具のプロフェッショナル

1933年創業のニッケン文具株式会社（本社：大阪府、以下ニッケン文具）は、時代や消費者の変化に柔軟に対応しながら発展を続ける文具専門商社です。人口構造やライフスタイルの変化に対応したきめ細やかで戦略的な提案力が、全国的大型小売店や専門店に支持されています。

このほど、ニッケン文具では得意先店舗からの発注用端末を、ハンディターミナルからスマートフォンに変更しました。変更前の課題とPittaly Order選定の理由をまとめました。



## 導入システム

ニッケン文具では、2025年1月、スマホによる簡単発注アプリ Pittaly Order（ピットアリー オーダー）を導入しました。Pittaly Orderは、発注企業（店舗など）と受注企業（メーカー・卸）をつなぐクラウド型の受発注システムです。FAXや手書き伝票、専用端末などに依存していた発注業務を、スマホアプリやWebを経由することによりシンプルにデジタル化が可能。受注側はクラウド経由で正確・迅速に注文データを受け取ることができ、店舗と受注企業のDX推進に役立ちます。

今回、ニッケン文具では、得意先店舗15店舗にPittaly Orderを導入。ハンディターミナルからスマホアプリに発注方法を切り替えました。

## 導入前の課題－1

これまで、ニッケン文具は得意先店舗にハンディターミナルを貸与し発注業務に活用いただいていた。なお、店舗のハンディターミナルとニッケン文具本社の基幹システムとは、アナログ電話回線で接続していた。

### （１）端末の老朽化と通信環境

ハンディターミナルは10年以上前（2025年現在）に導入したシステムで、端末の老朽化が懸念されていました。そのため、新しいハンディターミナルへの更新を検討したものの、初期費用や月額費用など、コスト面が懸念されました。回線についても、NTTによってアナログからデジタル（IP網）への移行が進められるなか、ハンディターミナルに内蔵されたモデムが使用不能になるリスクがあり、不安を抱えたなかでの運用となっていました。また、店舗からニッケン文具にデータを送信する際、時折予期せぬ通信エラーや送信したファイルが破損するなどのトラブルがありました。

### （２）現場での作業負荷

ハンディターミナルでバーコードを読み取り、数量を入力すると発注が行われる仕組みのため、時折、廃番商品や取扱い商品以外についても発注いただくことがありました。

また、ハンディターミナルには商品名が表示されないため、間違えて異なる商品のバーコードをスキャンしても気づきにくいという課題もありました。

詳しくは次頁へ →

## 導入前の課題－ 2

10年以上前に導入したハンディーターミナルによる発注システムについて、  
下記のような課題が顕在化していました。

### 端末の老朽化

- 10年以上前に導入したハンディーターミナルの劣化
- 新しい端末への更新には高額な初期費用が必要
- 専用の端末、専用のプログラムのため汎用性が無い

### 通信環境のリスク

- アナログ電話回線に依存した接続方式
- アナログからIP網への移行に対応困難
- モデムが使用不能になるリスク

### コスト問題

- 専用端末の高額な初期導入コスト・更新コスト
- 専用電話回線の維持費用
- 保守料や専用プログラム開発コストの負担

### 業務効率・誤発注リスク

- 商品名が表示されないため誤発注に気づきにくい
- 廃番商品や取扱い外商品の発注リスク
- 通信エラーやファイル破損トラブルの発生

## Pittaly Orderを選定した理由－ 1

これらの課題から、ニッケン文具ではハンディターミナルに代わる新たな店舗発注の仕組みの検討を開始しました。その結果、2025年1月にPittaly Orderを導入しています。Pittaly Orderを選定した理由は次の通りです。

### （１）端末の調達コストが抑えられる

ハンディターミナルに代わり、スマホ（iPhone）を利用するため、端末の調達コストが大幅に削減できました。調達したスマホはお得意先店舗に貸与します。店舗の担当者もスマホ自体の操作に慣れているので、アプリ（Pittaly Order）の操作にも支障はありませんでした。

### （２）商品名の表示、反応速度

Pittaly Orderは、スマホの背面カメラにバーコードを読ませると、該当する商品名が表示されます。これは、商品マスタがスマホにダウンロードされているためです。

商品マスタは、ニッケン文具が予めPittaly Orderのクラウドサーバーにアップロードしておきます。

商品名が表示されることで、その場で商品名が確認でき、間違った商品を発注することは無くなりました。また、廃番商品や自社取扱い商品以外のバーコードがスキャンされた場合、商品名が表示されませんので、その場で誤発注に気が付くこともできるようになりました。

また、バーコードスキャンの反応速度については実用の範囲内であると感じ判断いただきました。

## Pittaly Orderを選定した理由－ 2

### （3）システムの管理負荷軽減とトータルの運用コスト削減

ハンディターミナルからスマホに切り替えたことで、端末自体の調達コストはもちろん、保守料や専用プログラムの開発コストが不要になりました。また、発注データを受信するための電話回線が廃止できた点もコストメリットとして挙げられます。

そして、調達コストがネックとなり、これまで端末を貸与できなかった店舗へも、Pittaly Orderであれば展開しやすいとご評価いただいています。



店頭でPittaly Orderを操作し発注を行うところ



## 解決策：Pittaly Orderの導入－ 1

### Pittaly Orderとは

#### 2025年1月より15店舗に導入したスマホ・クラウド型の受発注システム

- 発注企業（店舗）と受注企業（メーカー・卸）をつなぐクラウド型システム
- FAXや手書き伝票、専用端末が不要。業務デジタル化をシンプルに推進
- ハンディターミナルからスマートフォンへの移行を実現

#### 簡単読み取り

- スマホの背面カメラでバーコードを読み取るだけで簡単に発注可能

#### クラウド連携

- 発注データをリアルタイムでクラウド経由で受け取り、即時処理を実現

#### 誤発注防止

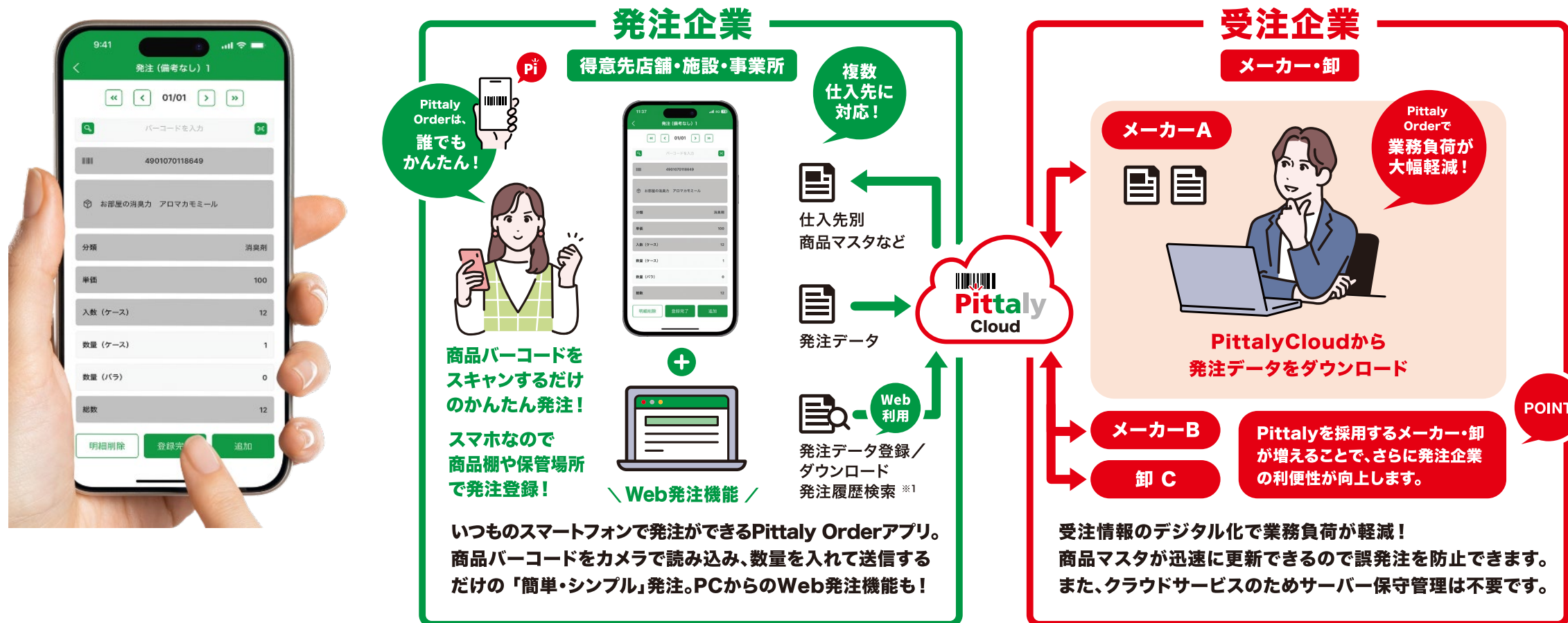
- 商品名が表示されるため、間違った商品の発注を防止可能

#### DX推進効果

- レガシーシステムからの脱却により、データのリアルタイム連携と業務効率化を実現。アナログ回線に依存しない安定したシステム運用が可能に

## 解決策：Pittaly Orderの導入－2

### Pittaly Order のイメージ図





## 企業プロフィール

社 名 : ニッケン文具株式会社  
本 社 : 大阪府東大阪市長田中4-5-44  
創 業 : 1933年1月  
資 本 金 : 5,000万円  
事 業 内 容 : 全国量販店への文具、事務用品、紙製品、玩具、  
ファンシーグッズ等の卸売業

※2025年8月取材（記載の内容は取材時点での情報です）

働く人に笑顔を！



【東京本社】

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町4-3 国際箱崎ビル4F

【大阪本社】

〒541-0048 大阪府大阪市中央区瓦町1-6-10 JPビル3F

Webサイト：<https://www.usknet.com/>

お問合せ：meijin@usknet.co.jp